まっさきにあなたへ

まさき広報

www.town.masaki.ehime.jp_ Public Relations

Glistening water,smiling faces and a comfortable town to live_ Masaki.



特　集　公民館から幸民館へ

pick up　学校生活を応援します

家族のきずな　黒田道仁さん 由起子さん 未祈ちゃん 隼冴くん

Boys& Girls, Be Ambitious!　石原千聖ちゃん 大野愛純ちゃん

3

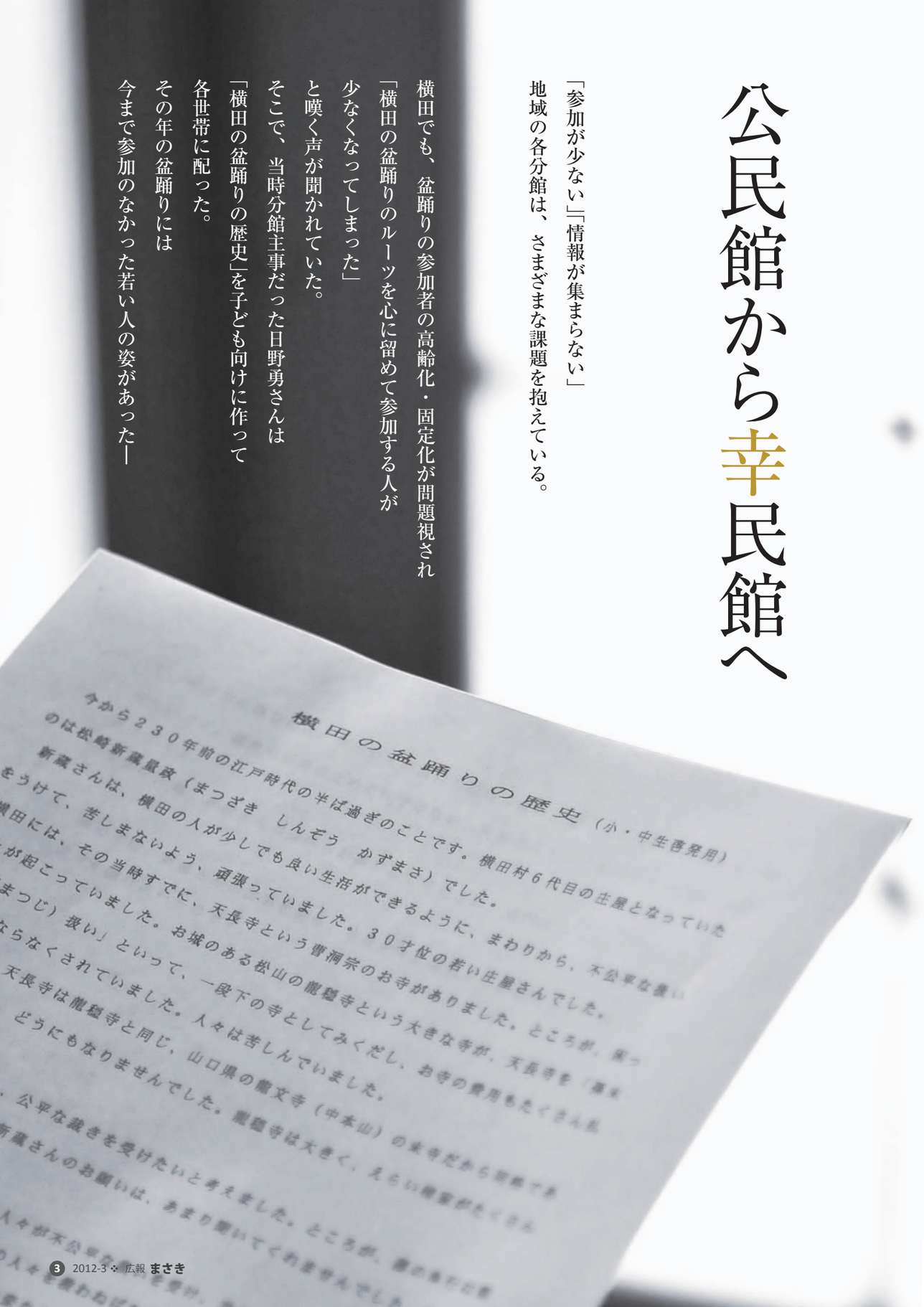
March 2012

No.424

公民館から幸民館へ

「参加が少ない」「情報が集まらない」
地域の各分館は、さまざまな課題を抱えている。

横田でも、盆踊りの参加者の高齢化・固定化が問題視され
「横田の盆踊りのルーツを心に留めて参加する人が
少なくなってしまった」
と嘆く声が聞かれていた。
そこで、当時分館主事だった日野勇さんは
「横田の盆踊りの歴史」を子ども向けに作って
各世帯に配った。
その年の盆踊りには
今まで参加のなかった若い人の姿があった―



家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーでつないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。



黒田道仁さん　**由起子**さん
未祈ちゃん　**隼冴**くん　（筒井）

PROFILE
くろだ・みちひと　松前消防署職員。趣味はゴルフ。筒井出身。35 歳
くろだ・ゆきこ　パート。趣味はレクバレー。愛知県出身。31 歳
くろだ・みのり　好きな教科は国語と音楽。将来の夢は花屋さんかパティシエ。小 3
くろだ・しゅんご　好きな遊びはサッカー。将来の夢はお父さんみたいな消防士。5 歳

筒井に住む黒田さんファミリー。何でも話せる仲良し家族です。

「子どもたちは二人とも頑張り屋さん。勉強も運動も一生懸命」と由起子さんはうれしそう。そんな由起子さんのことを「仕事と子育てで大変なのに手を抜かない」と道仁さんは話し、「子どもたちが頑張り屋なのは母親似ですね」と笑います。

家族が大事にしているのは「食事は必ずみんなで食べる」こと。食卓を囲みながら、心を通わせています。消防士の道仁さん。1 日勤務の時は、由起子さんが夕飯をお弁当に詰めて、消防署に届けます。同じメニューを食べることで、離れていても家族は一緒です。届けるときは、子どもたちも一緒に行きます。隼冴くんは、「消防署で見るお父さん、かっこいい」と憧れ、将来の夢は「お父さんみたいな消防士」です。

ご夫婦は、「今のまま素直で、大人になっても何事にも頑張れる人になってくれたら」と、これからの子どもたちの成長を楽しみにしていました。

次回は、由起子さんのママ友、濱田麻美さん家族をご紹介します。

Contents

02　家族のきずな　黒田道仁さん・由起子さん・未祈ちゃん・隼冴くん
03　特集　公民館から幸民館へ
12　学校生活を応援します
14　3.11 から 1 年
15　食育メニューコンクール入賞作品決定
16　Monthly Topics　商工会創立 50 周年記念式典 / 平成 24 年区長会ほか
20　まちのわだい　バドミントン大会 / 少年の日記念式典 / 善行生徒表彰ほか
22　News　広報モニター募集 / 予防接種 / まさきの ecology 生活ほか
26　消防署だより
27　Information　就業支援セミナー / 多重債務者相談 / 消費力アップ通信ほか
28　公共施設からのお便り　図書館 / 包括支援 / 公民館
30　Smile & Smile　1歳です よろしくね / おうちで給食 / Boys & girls Be, Ambitious! 石原千聖ちゃん・大野愛純ちゃん / ふるさと歴史散歩
32　行ってこーわい 会ってこーわい　松前サムルノリ



表紙
2月3日、前夜から降り続いた雪で、町内はうっすら雪化粧。黒田保育所の園児は、園庭で元気いっぱい雪遊びをしました。常盤礼愛（5）ちゃんと檜垣歩来ちゃん(5) も大はしゃぎです。

●表紙の “Glistening water,smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.”はキャッチフレーズの「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」です。



農繁期の生活の合理化をと、鶴吉では共同炊事が行われていた。婦人たちの話し合いで始まったもので、大変喜ばれていた。写真は食事をもらって帰る地域の人々。(昭和33年)

先人の苦労が刻まれた歴史

探る

横田の盆踊りのエピソード。成功のカギは、先人の心を学ぶことにあった。
だからこそ知っておきたい。分館活動、公民館活動のルーツとは？

社会教育の必要性を訴え動いた青年団

公民館は、地域の人々に最も身近な学習や交流・地域課題への取り組みの場として、大きな役割を果たしてきました。そのルーツは、終戦直後にさかのぼります。

当時を知る元公民館主事の重川利春さんは言います。

「青年団が社会教育の必要性を訴え、公民館ができた」

昭和23年、青年団の熱意に動かされた旧松前町は、松前小学校講堂2階に公民館を設置。26年には、松前保育所に併設の「松前公民館」を建設し、常勤主事を配置しました。

北伊予村でも、自ら学習することの必要を痛感した青年たちが地区の協議所に集合して学習会を開き、生活と教育の課題を設定し、公民館活動を展開していました。

岡田村でも、青年団と婦人会が中心となって生活改善・食生活合理化などに尽力。28年には、独立した岡田村公民館が建設されました。「当時、単独の公民館は県下でも珍しく、参観者が毎日のように訪れていた」と重川さんは話します。

30年には、町村合併が行われ、北伊予・松前・岡田公民館が発足。以後変遷を経て、役場が現在地に新築された39年、今の名称である東・西・北公民館と改称されました。

当時、北伊予公民館主事だった松田清太郎さんは、「地域の課題をあらゆる団体が持ち寄って解決しようというのが公民館活動だった」ときっぱり。

元中央公民館主事の友田秀謙さんは「毎晩のように講座を開いていた。農業や子育てなど、地域社会をよくするためのテーマが中心だった。遊技場ができることをテーマにして、婦人会が青少年の健全育成に良くないと反対運動をしたこともあった。地域課題など、世の中の流れを的確につかむのが公民館活動だった」と振り返ります。

「講座を開けば、座れないほどの人であふれていた。特に家庭教育学級は人気で、若い夫婦であふれ、子どもも一緒に公民館に来ていた」と3人は口をそろえます。

社会の最先端を行く公民館

41年2階建ての中央公民館が建築されると、活動は一段と活発に。重川さんは「中央公民館は町の社会教育全体をどうするか、3校区を総括していた。地域の課題を持ち寄って考える、また反対に地域に提案した」と話します。

「生活改善運動の一環として、中央公民館で結婚式もやっていた。私も50組ほどの結婚式に携わった。その後、中央公民館に体育館が必要ということで、町民会館ができ、坪内寿夫さんが本を寄付するということで図書館もできた」と友田さん。「東京オリンピックで町民の体育に対する関心が高まっていた。町民会館は、体育の進歩に大きく貢献した。いろんな面で公民館は社会の最先端を行っていた」とも。

分館活動で軌道にのったコミュニティーづくり

松前町は、49年には優良公民館として文部大臣表彰を受けました。中央公民館活動はとても活発でしたが、地域の隅々まできわたった自主的自発的活動にまでは至っていないとの反省から、次第に地区の公民館の在り方を考えていくように。

友田さんは「分館活動で地域の絆を作ろうと、公民館の機能を持たせた。分館制度を取り入れた」と話します。

その後、24地区中、毎年2館ずつモデル公民館を委嘱して研究活動を進め、54年には全公民館がモデル館終了。地域の特色を生かしたコミュニティーづくりが軌道にのりはじめました。また、校区に地区公民館を設置。主事は専任で常駐とし、地域と一体となって公民館活動の強化を図りました。徐々に分館を中心に、地域に密着した取り組みが進められてきました。

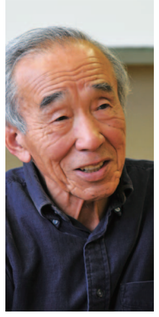
松前町の公民館活動は、学校、家庭、社会が一体となって、自主的自発的精神による明るく豊かな地域づくりを目指して、前進を続けました。

「ただ楽しんでいたのではない。仲間と共に、地域を豊かにしたい。それこそが、活動の原点だった」

みんなが笑顔で公民館に集い、知恵を出し合いました。昨今のデジタルとは無縁の時代。物質的には決して豊かではなかったかもしれません。でも、地域は強い絆で結ばれ、楽しみ、地域をよくしようという気概を持っていたのです。

公民館活動に尽力した３人に聞く





重川利春さん（昌農内）

社会教育主事の資格を取るのに、２ヵ月間、大学に入って猛勉強。それこそ血を吐くような苦労だった。その苦労がすぐに吹き飛ぶほど、社会教育主事の仕事は華があり、楽しみがあった。地域の人とのつながりがそれだ。主事同士のつながりも深かった。私たちの時代に箱モノは全部つくることができたと思う。今、大切なのは、地域づくり、人づくりだ。

S.30~岡田村公民館主事 /S.34~松前公民館兼務 /S.39~社会教育係長 / S.57~教育課長 /S.63~北公民館長



友田秀謙さん（西古泉）

重川さんと一緒に公民館に戻って驚いた。地域の人が「利さん、おかえりなさい」と言っていた。そんな主事になりたいと憧れ、励んだことを覚えている。「公民館は地域のお茶の間」。重川さんからその言葉を受け継いでいた。公民館は、いろんな人が集い、いろんなアイデアが出てくるのがいいところ。分館に調理実習室があるのもその表れ。農繁期に料理ができない婦人が共同炊事をして助け合っていたからだ。

S.40~中央公民館主事 /S.47~社会教育主事 /S.54~社会教育係長 /S.55~教育課長補佐兼中央公民館長補佐 /S.60~教育課長兼中央公民館長 /S.63~社会教育課長兼中央公民館長



松田清太郎さん（東古泉）

当時は地域の課題をあらゆる団体が持ち寄って解決しようというのが公民館活動だった。今では自分のためになってしまっていないか。昔は趣味のグループが「発表会をしよう」と、自主的に活動していた。今は受動的になっていないか。公民館活動は、社会、家庭、学校教育を一つにし、地域の人の結びつきを高めていく場。今の地域の課題を公民館活動に取り入れると、地域も人も良くなるはずだ。

S.34~北伊予公民館 /S.39~中央公民館 /S.41~社会教育主事、教育委員会事務局 /S.42~社会教育係長 /S.43~公民館長補佐

公民館活動の今とこれから

知る

松前町公民館研究大会・生涯学習推進大会が開かれた。大会から、公民館活動の意義や魅力、そして努力や課題をリポート。

「第33回松前町公民館研究大会・平成23年度松前町生涯学習推進大会」は2月5日、松前総合文化センターで開催され、約500人が参加しました。

「元気が出るまちづくり　好きです！松前町」の大会テーマのもと、出作、新立、恵久美の3分館が事例を発表し、会場の参加者との意見交換を行いました。

出作分館は「先人達がやってきたことを時代に合うよう改善しながら続けることが大切」という観点で、子ども相撲、獅子舞、亥の子などの伝統文化の保存継承活動などを報告。昨年から始めたという桜植樹についても発表しました。これは、小学校1年生が桜を植樹し、木のそばに作文や絵などを埋め、成人式に開けようというユニークな行事。小松敏分館主事は、「行事で体感した喜びの積み重ねが、一人一人の元気を生み、地域への愛着を目覚めさせます。そのお手伝いが分館活動の目指すところであり、地域の元気の源になると信じています」と訴えました。

新立分館は、地域に多くの史跡や文化遺産があることに触れ、住吉神社の改築や環境整備で見せた住民の活躍を紹介。村上朋子分館主事は「人が集まらなければ交流にならないし、活動は継続することで発展につながる。けれど、マンネリ化してしまう恐れもある。古くからあるものを大切にしながら、新しいことにも取り組み、地域で子どもを育て、大人も一緒に成長したい」と述べました。

恵久美分館は、運動会、文化祭、資源ごみ回収活動などを報告。山岡勝利分館主事は「行事は30数年継承されているものが多く、定着している。問題は、内容や参加者が固定化していること。日頃からご近所との触れ合いを大切にして、お互いが家族のことを知り合える関係を作っていきたい。『牛（孫）にひかれて善光寺（公民館）まいり』になることを期待する」と述べました。

その後の意見交換では、「行事への参加者が少ない」「どんな活動を望んでいるか、情報が集まってこない」「マンネリ化している」など、分館活動が抱えるさまざまな課題について意見が交わされました。

地域の課題をみんなで持ち寄って話し合う―。

先輩たちが「地域をよくしたい」と続けてきた公民館活動。この大会自体が、まさに町が一つになる公民館活動です。そして、一つの評価の場でもあります。大会スタート当初から、1年の活動を反省し、次年度の計画を練るということが繰り返されてきました。

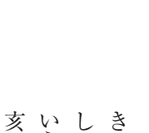
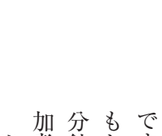
かつて、中学生は勉強や部活動に忙しく、地域行事に参加できなくて当然と思われていました。しかし、徳丸分館で中学生に運動会での役割を持たせ、大成功したことがありました。その話はやがて校区内に広がり、公民館研究大会で発表されると、各分館にも広がって、町全体の地域行事で中学生が活躍する姿が見られるようになりました。

この大会では、分館の独自性、多様性を尊重しつつ、活動を向上させるために、分館間の相互的な刺激と交流も図られているのです。

今大会のコーディネーターを務めた中予教育事務所の田中弘社会教育課長は、「外から見ると、松前町の公民館活動は素晴らしい。中央公民館があって、地区公民館があって、さらに分館がある。どこを見ても、こんなにしっかりした組織があるところは珍しい。愛媛の公民館活動は全国でも1、2位といわれている。その愛媛でトップクラス。誇るべきことです。マンネリ化を恐れず、地域性を大切にしてほしい。祭りやイベントを通じた人とのつながりを大切にしてほしい。子どもの姿がある活動を続けてほしい」と総括しました。

「自主的自発的な精神による明るく豊かな地域づくり」を目指して歩み続けてきた松前町の公民館活動。これらの活動は、地域の元気を保ち、住民同士の絆を深め、たくさんの幸せをつくってきました。

震災後、人と人とのつながり、地域コミュニティーの大切さを再認識した今だからこそ、地域の中で今何ができるか、もっともっとみんなが知恵と力を出し合う地域づくりが必要です。


1_3分館の事例発表の後、会場の皆さんと意見交換が行われた
2_恵久美分館の山岡勝利主事　3_新立分館の村上朋子主事
4_出作分館の小松敏主事



平成23年度公民館活動功労者受賞者（敬称略）



徳丸分館	仙波康宏		
中川原分館	弓達武範		
中川原分館	白石浩輔		
横田分館	日野榮藏		
宗意原分館	尾田チヱ子		
昌農内分館	長井優	／西高柳分館	大西端午
西古泉分館	稲田輝宏	／塩屋分館	三好郁徳



中予教育事務所
社会教育課長
田中　弘さん

松前町の公民館活動は誇るべきことです。どの分館を見ても、運動会、秋祭り、どんど焼きなど、さまざまな活動を熱心に行っています。分館として建物があって、組織的に活動しやすいこともあるでしょうが、やはり「地域をよくしよう」という思い、「つながろう」という連帯意識が残っているからこそ続けてこられたんだと思います。

私からは3つのことをお願いしたいと思います。①継続しているものを続けてほしい。マンネリ化の心配もあるかもしれませんが、大切に守り、年中行事化していただきたい。子どもにとってはこの時期になればこれが見られるというのはものすごく楽しみ。通過儀礼的なものとして取り組めば、子どもは大事にしてもらっていると実感し、地域への愛着を持つ。だからマンネリ化を恐れるよりも、地域性を大切に。②祭りやイベントを大切にしてほしい。役員の皆さんは、準備から本当に大変。だけど、その活動から役員を中心としたつながりができていく。③子どもの姿がある公民館活動を続けてほしい。子どもがそこにいてくれることで、大人も癒やされる。出作の子は出作に任せなさいという気持ちで、地域の子は地域で育ててほしい。―そうすれば、子どもたちにとって、地域はいつまでも「心のふるさと」になります。それがまちの未来につながっていくのです。

目指すのは住民総参加

私たちを取り巻く様々な課題に対し、住民が協力して活力ある地域づくりを目指すのが「公民館活動」。
今、まさに課題に対応するために取り組んでいる活動例を紹介します。

北黒田地区

地域の人とのふれあいを大事に一致団結

福祉部長
宮内明美さん

北黒田分館長
大西安廣さん



北黒田は、世帯数1200戸、筒井に次ぐ大きな地域です。近年、新興住宅が増え、住民が増加。一方で少子高齢化や核家族化の進行により、独居老人数は年々増えています。

そんな中、力を入れているのは福祉活動。平成20年には、自主防災会を結成したことを機に、福祉部を創設。民生委員と見守り推進員が中心になって、独居老人や日中一人で家にいる高齢者、災害時に救護が必要な人などを把握し、日々の見守りを重点に情報交換を行っています。

福祉部長の宮内明美さんは「地域の人との触れ合いを大事にしています。日常的にはもちろん、公民館行事なども情報交換できるいい機会」と話します。

福祉部創設以前から続いている児童から独居老人への年賀状の交流。絆を深めようと、小学生が年賀状を書き、独居老人に送っています。「返事が届くこともあり、児童も大喜び」と宮内さん。これを機に、児童が老人宅をグループで訪問することに発展すればと願っています。

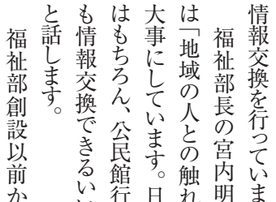
昨年11月27日には、第1回北黒田公民館ふれあいの日を実現。人が人を呼び、公民館は大勢の人でにぎわいました。大西安廣分館長は「うちの活動はまだまだだと思っています。もっとできることがある。次回のふれあいの日は、独居老人にはバザー券を配って子どもの作品を見に来てもらいたい」と意欲的です。

5月には、南黒田と合同で防災訓練を実施予定。「福祉部や消防団と協力して子どもも独居老人も参加する訓練にしたい。弱い人には元気な人が手を貸し、みんなで力を合わせる活動がしたい」と大西分館長。

北黒田は、地域の人とのふれあいを大切に、一致団結できる環境づくりを目指した公民館活動を続けています。



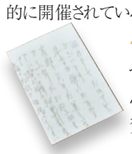
2_出来たてが食べられるバザー



3_定期的に開催されている高齢者向けサロン



1_ふれあいの日の花販売



4_「本当にうれしかった」と本田ミヤコさん(89)から届いた年賀状への返事



3



1



2

1_ひまわりの定植作業　2_ひまわり祭り　3.4_月1回の分別・回収作業には、環境部員と老人クラブの有志が参加



4

中川原地区

地域を思う農家の強い意志でコミュニティー再生

北は重信川を隔て、松山市に接する中川原。古くから重信川の伏流水と湧水を水源に、水田農業が盛んに行われてきました。しかし、昭和40年代以降、農家の高齢化、担い手不足などにより、農業は過渡期を迎えていました。

また、松山市のベッドタウンとして、非農家世帯の転入により混住化が進むなど、次第にコミュニティー活動は低下。さらには、水田や水路に空き缶などのごみが目立つようになり、農村環境の悪化も見られるようになっていました。

地区では、これらの課題を解決するため、農家が中心となって活動を開始しました。自治区の各部と「中川原生産組合」が連携し、各種活動が行われています。

平成7年には、中川原生産組合が休耕田を活用して、ひまわり栽培を開始。現在では、中川原を代表する行事となった「ひまわり祭り」を含め、集落をあげての活動となっています。

また、美しい農村環境の保持や住民の環境意識の向上を目的に、13年にはリサイクル活動を始めました。活動拠点のリサイクルセンターは、住民の手作りで設置。さまざまな種類のごみが分別・回収され、リサイクル率は80％を超えています。

環境部長の白石浩輔さんは「スタートして10年。ごみを再利用する意識は高まってきた。これからは、ごみを減らす意識を高めていきたい。みんなで力を合わさなければ、自分たちの地域は良くならない」と話します。

大政勉一分館長は、「リサイクルセンターは、住民が顔見知りとなる重要なコミュニケーションの場でもある」とにっこり。

中川原では、地域を思う農家の強い意志とおおらかさにより、新たな絆が結ばれ、全世帯が暮らしやすい「地域づくり」への参加が進んでいます。

環境部長
白石浩輔さん



中川原分館長
大政勉一さん



神崎地区

地域の良さを見つけながら世代間交流







1_2月11日のかんざき塾では「しょうゆ餅」づくりに挑戦　2_大念仏について学習する塾生たち　3_亥の子大会には大勢の子どもたちが参加しました

神崎は、夏祭り、秋祭り、運動会、文化祭と、1年を通して行事を盛大に開催しています。しかし、近年、若い世代の流出、少子化などにより、コミュニティー活動や伝統文化の継承が困難に。こうした中、地元の高齢者が立ち上がり「かんざき塾」を開講。これは、伝統文化や郷土食など、後世へと伝え残したい地域の良さを、地元の高齢者が講師となり、子どもたちと一緒に学習するというもの。主宰する高石勤さんは、「何より子どもたちに郷土を知ってほしかった」と語ります。

3年目の本年度は▽神崎の生い立ち▽神崎の水はどこから▽大念仏とお盆の行事▽亥の子▽ひな祭りと郷土料理―などをテーマに講話、現地巡回や体験学習が繰り広げられ、郷土について学びながら、子どもたちがお年寄りたちと触れ合う和やかな光景が見られました。高齢者の知識や技術は地域の文化。世代間交流や地域の活性化を図るだけでなく、高齢者の生きがい対策にもつながります。

塾生の池内求さん(75)は「この年になっても知らないことがあった。大念仏や亥の子など、その意味を知って、若い人にどんどん入ってもらって、絶やすことなく続けていきたい」と話していました。高石さんは「回を重ねることに参加者が増えてきた。来年はもっとたくさんの子どもたちが来てくれるのでは」と自信をのぞかせます。

郷土料理を学んだ日、池内萌菜ちゃん、寧音ちゃん、白石久美子ちゃんが、帰り際に「おいしいお料理を作ってくれてありがとうございました」と感謝を述べると、お年寄りからは「また来年ね」と温かい声が返っていました。

かんざき塾主宰
髙石勤さん



昌農内地区

子どもも地域の一員 多彩な活動で深めた絆

米、麦、そら豆。地域の田を見ると、昌農内が農業の盛んな地域だと一目で分かります。しかし、のどかな農村地域から宅地開発が進み、その結果、人口が増加し、多種多様な職業を持った人が住民となり、活力をもたらす一方、考え方や習慣の違いが生じていました。

そこで、昌農内は、「住んでよかった昌農内、水よく、米よく、人情も」を合言葉に1年を通して多彩な活動を展開してきました。住民の参加は積極的で、環境美化活動と三世代の交流を兼ねて始めた「空き缶拾い」には、幼児から高齢者まで100人以上が集います。

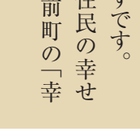
特徴的なのは、いずれの活動も「子どもがいる」こと。防災訓練には、はしご車を呼ぶことで大勢の子どもを集めました。運動会では中学生が放送や審判員など大会役員として活躍します。

喜安光男分館長は「5、6年前からようやく子どもが集まり始めた。運動会など、子どもに役割を持たせたのが良かったと思う。子どもたちも地域の一員であると自覚できる。『どうせこんけんいい』じゃ絶対に地域は良くならない」と語ります。

どんど焼きの際には地元の新鮮な野菜の即売会が行われ、各種行事では農政婦人部が腕を振るうなど、農業の盛んな地域ならではの活動も住民相互のコミュニケーション力を高めています。

「いろいろな行事を通して、地域の絆を深めたい。これからは町と二人三脚で、防災と環境に力を入れたい」と意気込みを語っていました。

昌農内分館長
喜安光男さん







1_運動会で活躍する中学生　2_腕を振るう農政婦人部　3_恒例行事「どんど焼き」には大勢の人が参加

公民館から幸民館へ

「みんなで協力して、明るく豊かな地域づくりをしよう」という思いを原点に始まり、人々が集い、知恵を出し合い、協力し合ってきた松前町の公民館活動。先輩は、その思いを受け継ぎ、誇れる公民館活動を継続させてきました。もちろん、活動を進める中で、さまざまな課題はあるでしょう。しかし本来、課題に対応するために住民が協力するのが公民館活動。先に挙げた分館活動は、地域の課題を見つめ、暮らしやすさやコミュニティーの心地よさを追求し、実現しています。高齢化、住環境の変化、近所付き合いの希薄化など、課題に対応しようとすればするほど、地域コミュニティーは強固なものになるのです。

公民館は、住民主導、「公」設「民」営だから公民館です。誇れる公民館活動を展開している松前町ですが、この現代において「公」設「公」営になっていないでしょうか。

公民館活動の目指すものは、自主的自発的な精神による明るく豊かな地域づくり。それは住民一人一人の幸せにつながります。各地域の拠点である分館において、ごみのないきれいなまち、高齢者を支えるやさしい地域など、日常の中で幸福感を得られるまちづくりを目指すことが重要です。そのためには、地域に暮らすみんなの力が不可欠なはずです。

それが、住民の幸せのための松前町の「幸民館」です。

学校生活を応援します

特別支援教育

「特別支援教育」は、勉強や友達のことで困っている子どもたち一人一人に適切な支援をする取り組みです。

春は、入学や進学の時期です。今から楽しみで、わくわくしている子もいれば、分からないことばかりで、不安でいっぱいの子もいるでしょう。

保護者の皆さんも、子どもたちと一緒ではないでしょうか。

「みんなのペースについていけるかなあ」「友達と仲良くやっていけるかなあ」いろいろ考え始めると、心配なこともありますね。

子どもたち一人一人の「いいところ」を大事に伸ばして、自信を持って学校生活が送れるよう、松前町は特別支援教育に取り組んでいます。

1 幼稚園、保育所、小・中学校で行う「巡回相談」で見守る

町立幼稚園や町内保育所で行っている「巡回相談」では、保健センター、子育て支援センター、小学校なども加わり、アドバイザーを中心に連携し、スムーズに就学できるよう支援しています。

この「巡回相談」では、それぞれの立場から意見を出し合い、「困っている」サインを発信している子どもたちへの支援方法を相談しています。

巡回相談は、町立小・中学校でも実施しており、幼児期から中学校期まで、一貫した体制で育ちを見守ることを大切にしています。



小学校での巡回相談

2 「就学支援シート」で小学校生活を安心してスタート

小学校入学にあたっては、「いろいろ聞きたいことがあるけれど、何をどこまで話せばいいのか」「小学校へ連絡したいけれど結局できない」…ということがあると思います。

そこで、松前町特別支援連携協議会は、「就学支援シート」の活用に取り組んでいます。

入学前に幼稚園や保育所の先生と一緒に、伝えたい内容をこのシートにまとめておくと、小学校の先生とゆっくり話をする機会をつくることができます。安心した気持ちで小学校生活をスタートできるように、活用してみませんか。

3 不安なときは、「特別支援教育コーディネーター」にぜひ相談を

子どもの学習や行動面に対して、どう関わればよいか迷うときは、町立幼稚園、小・中学校、県立高等学校にいる「特別支援教育コーディネーター」に相談してください。

町内保育所でも主任保育士がその役割を担っています。

「直接、先生に話すのはちょっと…」と思う人は、保健センター、子育て支援センター、福祉課、学校教育課でも相談することができます。

全ての子どもの育ちを支える特別支援教育



●愛媛大学教育学部
吉松　靖文　准教授

子どもの勉強、友達関係、言葉や体の成長など、気になるところはありませんか。乳幼児期であれば、「言葉が遅い」「外出すると迷子になる」「いうことを聞かない」、学校期であれば、「勉強が苦手」「友達と上手くいかない」「学校に行きたがらない」「よくない人とつきあいがあるらしい」など、子どもを育てていると、気になることがあるものですね。

このような子どもの育ちや行動には、全て意味や原因があります。例えば、他の子と上手く遊べない子の中には、自分の興味や関心がはっきりしているために、他の子の遊びに興味を持つことができないことがあります。そんな子どもに周りの子と仲良くさせようとしても上手くいきません。むしろ、本人の大好きな世界を周りの子どもに知らせていくことが、自然と子どもの人間関係を広げるだけでなく、興味・関心が文字などの知的な発達によい影響を与えることも期待できます。気になる子どものマイナス面こそ、重要な強さ・プラス面・才能かもしれません。

勉強の苦手も、子どもの特性に合った学習を進めることで、苦手を改善し、学力を向上することが可能です。例えば、漢字を覚えにくい子どもには、何度も書かせるよりも、漢字を使ったパズル、手や腕全体を使った空書きなど、子どもの特性に合った学習法の方が、確実に成果が期待できます。学習のつまずきは、子どもの特性に合わない学習によってつくられると言っても過言ではありません。

子育てをしていると、気になることがあるのは当たり前。子どものことを心から思っているからこそ、ついつい厳しくあたりがちです。子どもにとって最もつらいのは、親をがっかりさせること。子育てのことで困ったら、保健師、保育士、園や学校の先生に相談してください。困りごとや心配ごとを早く解消して、子どもの前でニコニコしていられるようにしたいものですね。

入学や進学に向けてのポイント

小学校

- ◆「早寝・早起き・朝ごはん」生活リズムを整えましょう。
- ◆自分の名前や「はい」「いいえ」が元気に言えるといいですね。
- ◆通学路を一緒に歩いて確認しましょう。
- ◆「早く学校に行きたいな」という気持ちを大切にしましょう。
- ◆「○○できないと、1年生になれないよ。先生にしかられるよ」というようなマイナスイメージを持たせないようにしましょう。

中学校

- ◆「教科担任制」となり、各教科ごとに先生が変わります。
- ◆部活動が始まります。家庭でもよく相談してください。
- ◆集団登校ではありません。どのくらい時間がかかるか通学路を確認しましょう。
- ◆各校の服装や頭髪などの決まりを知って、身だしなみを整えましょう。

問学校教育課 ☎985―4134

食育メニューコンクール
入賞作品決定

松前町産物を食べてもらおうと、
「松前町食育メニューコンクール」を開催しました。
今回のテーマは、
「松前町産物(品)を使った自分でつくるごはんに合うおかず」
385点の応募作品から、右の12作品が入賞しました。

最優秀賞	鶏肉とナスのさっぱり煮	久保　光駆さん（伊予高1年）
優秀賞	枝豆とちりめんじゃこのかきあげ	[redacted]（岡田中3年）
優秀賞	ちりめんはるまき	宮内奈々瀬さん（伊予高1年）
優秀賞	みそだれハンバーグ	永井　佳菜さん（伊予高1年）
優秀賞	空豆のえびはさみ揚げ	古川　舞子さん（岡田小6年）
優秀賞	オクラと山芋の梅肉あえ	池内ミツエさん（北黒田）
入賞	なすとピーマンと豚肉のみそ炒め	上野　巧洋さん（松前中1年）
入賞	長芋のふわふわ焼き	水本　彩人さん（伊予高1年）
入賞	枝豆と鳥ミンチの肉だんご	安永理李加さん（岡田小6年）
入賞	ちりめんたまごのピーマンまきやき	鶴田　真子さん（岡田小2年）
入賞	ちりめん豆腐ののりづけ	濱田菜々実さん（伊予高1年）
入賞	ちりめんとなすのしょうゆ和え	山下　紗衣さん（岡田小6年）

入賞作品は、食育連絡会で、栄養のバランス、独創性などの審査基準による1次審査を、まさき文化祭で来場者の投票による2次審査を行い、決定しました。今月は3作品を紹介します。残り9作品は順次紹介していきます。
※優秀賞に輝いた[redacted]（岡田中3年）の作品は、町内中学校と町立保育所で、3月2日（金）の給食に登場します。



最優秀賞

鶏肉とナスのさっぱり煮



久保光駆（こうく）さん
（伊予高1年）

■材料（1人分）　鶏肉…50g／ナス…中1/2個／ねぎ…1本／A（しょう油…大1　みりん…小1　酢…大1　砂糖…大1/2）／片栗粉、塩、こしょう、油…各少量
■作り方　①鶏肉とナスを一口大に切る②鶏肉をナイロン袋に入れ、塩・こしょうをしてもみこむ③②に片栗粉を加えてもむ④熱したフライパンに油をひき、鶏肉を両面がカリッとするまで焼き、ナスを入れて蒸し焼きにする⑤火が通ったら、Aを入れて一煮立ちする⑥皿に盛り、小口切りにしたねぎをちらす
■受賞コメント　ごはんに合うさっぱり煮です。幅広い年齢層の人に食べてほしいです。



優秀賞

枝豆とちりめんじゃこのかきあげ

※本人からの申し出により削除（2018年11月）

（岡田中3年）

■材料（1人分）　A(枝豆（むき身）…25g　ちりめんじゃこ…12.5g　スイートコーン（缶詰）…32g　かいわれ大根…1/4パック　ちくわ…1/2本）／B（天ぷら粉…25g　水…25cc　コーン缶の汁…1/4缶分）／油…適宜
■作り方　①枝豆は塩ゆでにし、むき身にしておく②かいわれ大根は1/2に切る③ちくわは輪切りにしておく④AとBを混ぜる⑤スプーンですくいながら一口大の大きさになるように揚げる
■受賞コメント　松前と言えば枝豆だと思い考えました。家で作って食べてほしいです。



優秀賞

ちりめんはるまき



宮内奈々瀬さん
（伊予高1年）

■材料（1人分）ちりめん…20g／ねぎ…適量／山芋…1/6本／ワンタンの皮…適量／油…適宜
■作り方　①ねぎをみじんぎりにする②①とちりめんを混ぜる③②の中に山芋を少々すっていれる（つなぎなので、たくさん入れる必要はない）④ワンタンの皮で包み油できつね色になるまで揚げる
■受賞コメント　小さい子どもから年配の人まで食べてもらいたくて、おかずにもおやつにもなるメニューを考えました。

3.11から1年

あの日を忘れない
東日本大震災から学ぶ炊き出しのカタチ
「共助を育むカ inまさき」を開催します

東日本大震災から1年が経ちました。被災地の1日も早い復興を願うとともに、
1年目の日にあわせて、炊き出しなどを実施し、災害時における地域間の連携強化を図ります。

日時　3月11日（日）10時～14時　　**会場**　松前町役場前駐車場
内容　◆開会行事
◆炊き出し訓練　・地元食材を使ったメニュー
・石原軍団が被災地で提供したメニュー
・宮城県で提供した今治焼豚玉子飯
※炊出し料理には提供数量に限りがあります。
◆トークショー　金児憲史さん（石原プロ所属）ほか
◆東日本大震災パネル展示
◆防災グッズの展示
参加費　無料（ただし、1食ごとに寄付していただき、えひめ愛顔の助け合い基金へ寄付する予定です）
主催　松前町・松前町自主防災連合会

問 総務課企画政策係 危機管理係　☎ 985-4103

今治焼豚玉子飯





金児憲史（かねこ　のりひと）
'78年、広島県生まれ。石原プロモーション所属。大学在学中の'00年、石原プロ主催の「21世紀の石原裕次郎を探せ！」で約52000人の中から最終審査の10人に選ばれ、石原プロに入る。同年に「はみだし刑事純情派スペシャル」でデビュー。以来、ドラマ、バラエティー多数のテレビをはじめ、映画やCMに出演。

東日本に愛を届けよう
東日本支援「フリマの祭典」
フリマ収益金で東日本を支援します

松前町ボランティア連絡協議会は、フリーマーケットを開催します。
その収益金の一部を義援金として復興に役立ててもらいます。
フリマ以外にも楽しめる催し物がありますので、ぜひお越しください。

日時　3月11日（日）10時～14時　　**場所**　松前町総合福祉センター（館内と屋外駐車場）
内容　◆ブース…日用品の余剰品、手作り品など販売の20ブース余りが出店予定
◆イベント…オープニングコーラス（岡田カトレアコーラス）、ワークショップ「身近な物で防災対策」（ネットワーク松前）、バルーンアート（精神保健ボランティア「しおさい」）、わくわく夢工房（ドリカム岡田）、チャレランで楽しもう（松前町レクリエーション協会）、猫袋で炊いたご飯の試食（災害救援ボランティア湧水）、キッズカーニバル（松前町児童館）、東日本大震災写真展（松前町ボランティア連絡協議会）、作品展示販売（障害者自立ひまわりの会）、ピアノ演奏（スリーポケッツ）
来場者特典　買物した人に、当日フリマの祭典でだけ使える「無料お買い物券」が当たる抽選券を進呈

問 松前町社会福祉協議会　ボランティアセンター事務局　☎ 985-3200

半世紀を祝い　発展を誓う
松前町商工会創立 50 周年記念式典







㊤会場に集まった会員たち。思い出話に花が咲きました　㊦永年功労者を表彰　㊨松前町出身の藤田かおりさんによる民謡

松前町商工会の創立 50 周年記念式典は 1 月 27 日、松前総合文化センターで開かれ、出席者約 250 人が、商工会が歩んだ半世紀の道のりを振り返りました。

商工会は 1961 年 4 月に 315 人で発足。現在 630 人が加盟しています。式典では、三好茂会長が「経営環境は厳しいが、大型ショッピングセンターとの共存共栄を図るなど既存の枠組みを超えた取り組みで、今後も地域に根ざした活動を続けたい」とあいさつ。白石勝也町長が「時代に合う経営を模索し、今回の節目を契機にさらに発展してほしい」と祝辞を述べました。

また、50 年前に発起人となり、現在まで会員である永年功労者 10 人を表彰。被表彰者を代表して、大内祥久さんが「商売は決して楽なものではありませんが、会員同士励まし合って、ますます発展していきたい」と決意を述べました。

引き続き行われた記念パーティーでは、これまでの歩みをまとめたスライドショーが上映され、参加者は思い出話に花を咲かせていました。

親が一日保育士に
白鶴保育所で保育士体験







㊤お昼寝準備で着替えをお手伝い　㊦寝かしつけ　㊨一緒に給食も食べました

白鶴保育所で 1 月 25 日、保護者が 1 日保育士を体験しました。これは、保育士となって子どもと接してもらうことで、保育所との関わりや子どもに対する相互理解を深めようと初めて取り組んだものです。

この日は 4 人のお母さんが参加。まず、節分のお面づくりとお店やさんごっこの準備を子どもたちと一緒にしました。給食や昼寝の準備や片付けなども行い、参加者は普段と違った形で子どもたちと触れ合いました。

保育士や子どもたちと過ごしてみて、折井智栄さんは「普段の生活で手を貸しすぎていたなと感じました。自分でできることは、ゆっくりでもさせてあげて、待ってあげることが必要だと思いました」と話していました。西畑美鈴所長は「保育士にも好評でした。子どもへの関わり方はいつもと変わらなかった様に見えますが、緊張感があったと思います。今後、お父さんたちにも参加してもらいたい」と話していました。

鬼は～外っ！
町内各所で節分の豆まき

前夜から降り続いた雪で、町内でもめずらしく積雪が見られた2月3日、町内の各幼稚園・保育所で、節分の豆まきが行われました。

黒田保育所の節分集会では、保護者2人が鬼にふんして登場。あまりの迫力に泣き出す子も続出しましたが、園児たちは協力して豆を投げて鬼を退治しました。鬼退治の後は、ウインナー、ブロッコリー、イチゴなどを使って「鬼面ライス」を作り、節分を楽しみました。

松前幼稚園では節分を前に、季節の風物詩に触れ、由来を知ってもらおうと、2月2日に松前小学校1年生と節分交流会を行いました。全員で節分についてのお話を聞いた後、園児らは小学生と協力して、鬼のまとあて、豆を入れる升、鬼のお面を作りました。その後、園庭で元気いっぱいに走り回って豆まきをしました。三好悠音（はると）くん（松前小1年）は「幼稚園のお友達と一緒に作ったことが楽しかったです」と笑顔で話していました。











㊤松前幼稚園児の名前を書いてあげる松前小学生　㊥幼稚園庭で元気に「鬼は一外っ」　㊦鬼面ライスを作ってにっこり　㊨鬼を退治する黒田保育所の子どもたち

園児を避難　さすまたで防御
松前幼稚園で不審者対応訓練

松前幼稚園は1月 27 日、伊予警察署の協力で、不審者対応訓練を実施しました。

訓練は、園内に刃物を持った男が侵入したと想定して行われ、犯人役の署員が東門より園内に侵入するのを職員2人が防御。その間に、別の職員が笛を吹き園児たちを2階保育室に避難させ、石丸幸子園長が警察に通報。犯人が大声を上げて刃物を振り回しはじめたところを、職員と石丸園長の支援要請を受けて駆け付けた西公民館の坂本義武館長が、さすまたを使って取り押さえました。

同署生活安全課の本田稔課長は「さすまたを足にかけて倒した対処の仕方は良かった。できれば大声を出してほしい。犯人を威嚇することにも、近隣に知らせることにもなる」と総括。石丸園長は「動揺したが、園児が素早く避難できて良かった」と話していました。

訓練後には本田課長の講話があり、園児らは、知らない人に連れさられそうになった際の対応などを学びました。







㊤さすまたを使って取り押さえる先生たち　㊨本田課長の話に耳を傾ける子どもたち　㊧園児を素早く避難



新しい区長さんが決定
平成 24 年区長会

平成 24 年の各地区の区長さんが決まりました。また、2 月 15 日に行われた区長会で、松前町区長会長に灘野保さん（写真中）、副会長に大西淳弘さん（写真左）と大政勉一さん（写真右）が選ばれました。

各地区の区長さんは下表の通りです（敬称略）。

行政区	氏名	電話
南黒田	岡井　武彦	984–6603
北黒田	大西　安廣	984–2384
宗意原	灘野　　保	984–3448
新立	仲島　政夫	984–1069
本村	三好　孝善	984–3001
筒井	村井　好明	984–4163
社宅	髙尾　大介	984–7626
徳丸	中野　良雄	090–6285–7763
中川原	大政　勉一	984–1797
出作	神野　英昭	984–4897
神崎	髙石　　通	985–0370
鶴吉	佐伯　和雄	985–1605
横田	篠﨑　正幸	984–0710
大溝	田中　安男	984–9301
永田	古谷　修藏	984–7580
東古泉	森下　昌隆	984–1957
大間	大政　一夫	080–2986–7185
上高柳	足立　武政	984–2964
恵久美	大西　淳弘	984–1253
昌農内	喜安　光男	984–9036
西高柳	宇野　洋一	984–8091
西古泉	勝見　正史	090–7620–1522
北川原	三好　勝志	984–7936
塩屋	木村　　博	985–0595

団体で準優勝　大川助俊さんがフォークリフト部門で優勝
愛媛県農業機械安全利用技能競技大会

松前町農業機械士会（岡井剛太郎会長他７人）は２月10 日、JA 伊予地区カントリーエレベーターで行われた愛媛県農業機械安全利用技能競技大会に出場し、団体の部で準優勝しました。また個人の部では、フォークリフト部門で大川助俊さん＝北川原＝が優勝しました。この大会は、農業機械士の技能向上と安全利用の推進を目的とし、運転操作技術を競うものです。



広報まさきが3部門で特選
愛媛県市町広報コンクール

平成23年愛媛県市町広報コンクールで、広報まさきが広報紙（12月号）、一枚写真（8月号表紙）、組み写真（9月号P8-P9）の３部門で特選に選ばれました。特選作品は、県の代表として全国広報コンクールへ推薦されます。

このうち広報紙は、企画、文章、レイアウトなどを基準に審査されました。12月号は「家族」がテーマ。「家族の写真など一貫性を持った仕上がりになっている」と評価されました。8月号の表紙は、笑顔あふれる子どもの表情が高い評価を受けました。

頑張る姿や素敵な笑顔を取材させてもらった皆さん、広報紙を配布してくださる皆さん、読んでくれる皆さんのおかげです。いつもありがとうございます。これからも、もっともっと愛される広報まさきを目指します。









㊤一列になって流れるようにスゴ技を披露したけん玉パフォーマンス　㊦書道パフォーマンス　㊨篠原律子さんによる日本舞踊

磨かれたスゴ技を披露
まちおこし演芸名人会

松前町文化協会主催の「第５回まちおこし演芸名人会」は２月12日、松前総合文化センターで開催されました。回を重ねるごとに盛大になってきたこの名人会。会場は約700人の観客で満席状態。５回目の今年も、さまざまなジャンルの名人たちが、自慢の腕を披露しました。

大会は、松前サムルノリの皆さんによる韓国太鼓で開幕。息の合った迫力満点の演奏に、観客は一気に引き込まれました。高瀬信幸さんは、松前小の児童７人と一緒にけん玉パフォーマンスを、松前中２年の穴山光太さんと小田原旬佑さんはおもしろリフティングを披露。そのスゴ技に、会場からは大きな拍手が送られていました。この他、書道パフォーマンス、バレエ、相撲甚句など、ステージで繰り広げられる多彩な芸に、観客は魅了されていました。

第１回から欠かさず見に来ているという山瀬文子さん＝南黒田＝は、「毎年元気をもらう。来年も楽しみにしています」と話していました。

伊方原発の事故想定し訓練
愛媛県原子力防災広域避難訓練

福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、同様の事故が伊方原子力発電所で発生した場合を想定した、愛媛県原子力防災広域避難訓練が２月 16 日に行われました。

今回の訓練は、伊方原発から 30 キロ圏内の７市町を中心に全体で約１万人が参加。避難先の一つとなった松前公園体育館には避難所が設置され、伊方町から 70 人がバス２台で避難し、中村時広県知事が、ヘリコプターで避難状況の確認に来ました。

避難所では、放射線のスクリーニング検査を行い、そのレベルに応じて除染や衣服の廃棄などの処置を行いました。その後、避難者一人一人に保健師が問診を行い、事故当時の状況や現在の状態などを聞き取り、健康相談を実施しました。また、安全に避難できなかった場合に服用する安定ヨウ素剤の説明も行われ、避難者たちは熱心に耳を傾けていました。

訓練に参加した女性は「事故があってから高い防災意識を保っているので、冷静に行動できた」と話しており、避難者たちのスムーズな動きで、予定時間よりも早く訓練終了となりました。







㊤健康相談。避難者たちの変化を見逃さない　㊦放射線のスクリーニング検査。体全体をくまなくチェックする　㊨安定ヨウ素剤の資料に目を通す避難者たち

まちのわだい
masaki's town news

▼2月8日
善行生徒５人を表彰



奉仕活動に率先して参加するなど、進んで努力する生徒らを表彰する伊予ロータリークラブの「善行生徒表彰」は、伊予商工会議所で行われ、クラブ管内の７中学校の生徒計11人に表彰状が贈られました。本町からは、浅田圭佑さん(松前中２年)、岩木玲太さん（同)、中村真菜さん（北伊予中２年)、滝川大喜さん（岡田中２年)、井野遥菜さん（同）が表彰されました。

▼2月6日
いやし博をＰＲ



「えひめ南予いやし博2012」をＰＲするキャラバン隊と宇和島観光宣伝隊が町長を表敬訪問しました。南予地方のイメージキャラクターにゃんよと宇和島市のもーにくんもキャラバン隊に参加し、訪れた各地で知名度向上に貢献しています。「いやし博2012」は、高速道路宇和島延伸を機に、４月22日から11月４日まで南予地域（宇和島市・松野町・鬼北町・愛南町）で開催されます。

▼2月5日
スポーツ卓球で交流



障がい者卓球クラブ「EC愛媛チャリティー」の「第1回障がい者と健常者のスポーツ卓球親善大会」は松前公園で行われ、町内外から約80人が参加しました。運営には伊予高や松前・岡田中の卓球部員がボランティアで参加。 競技は障がい者と健常者に分かれてチーム戦で実施され、選手は競技を通じて交流を深めていました。主催した田中博代表は「リハビリを越えたスポーツとしての活動を広げたい」と話していました。

▼1月22日
息の合ったペアプレーを披露



「第34回松前町バドミントン大会」は松前小学校体育館で開催され、参加者は息の合ったペアプレーで、熱戦を繰り広げました。結果は次の通りです（敬称略）。
▷**一般男子**①窪田誠也・鍋田陽二　②吾野善宣・河端浩伸　▷**一般女子１部**①京極汐里・小笠原恵里　②赤星眞美・中田美紗子　▷**一般女子２部**①出海似呂波・森田 愛可　②東美来・川下未紗

▼2月14日
鶴寿荘に笑顔の花



松前町人権擁護委員、松前町教育委員会、青葉幼稚園の園児たちの協力できれいに咲いたチューリップなどが「人権の花運動」として、鶴寿荘に贈られました。花がもつ生命の大切さや心の安らぎを感じてもらうこの運動。「みんなで育てたお花です。どうぞ飾ってください」と園児が手渡すと、受け取ったお年寄りは、園児一人一人と握手を交わし、「お花みたいに元気に育つんよ」と満開の笑顔を返していました。

▼2月8日
14歳の誓い



大人になるための儀式として行われていた「元服」にちなみ、町内3中学校で2年生を対象にした少年の日記念式典が行われました。北伊予中学校では、64人が体育館のステージに上がり、大人へと成長していく中での夢や決意を誓いの言葉として発表。最後に全員で「われら14歳、夢や希望の実現に向け、今大きく羽ばたきます」と声を体育館中に響かせると、見守っていた保護者らから大きな拍手が送られました。

▼2月6日
内藤大助さんが伊予路をてくてく



元プロボクサーの内藤大助さんがNHK番組「伊予路てくてく」の取材で当町を訪れました。町内各所を取材後、松前公園で行われていたホッケー教室を訪問。小・中学生と一緒にドリブルや練習ゲームを楽しみました。大西洋志くん（松前中1年）は「突然でびっくりしたけど一緒にプレーできてうれしかった。内藤さんかっこよかった」と興奮気味に話していました。2月15日にはスタジオ収録が行われ、番組は24日に放送されました。

▼2月2日
地域農業の活性化に向けて



松前町、砥部町と伊予市の農家や高校生らが農業の将来像を考える「伊予地区農業・生活研究フォーラム2012」は松前総合文化センターで開かれ、参加した約250人が地域農業の活性化に向けた活動事例を学びました。事例発表をした中川原地区は、環境保全型農業の取り組み、ごみのリサイクル活動やひまわり栽培など、地域の特色を生かした幅広い活動を紹介しました。

News

平成24年度広報モニターを募集しています

読者の視点から広報まさきに意見をいただくモニターを募集中です。

▼**募集人員** 10人

▼**資格** ①町内に居住する人②松前町に選挙権を有する人③広報モニターを経験したことがない人

▼**活動** モニター会議への出席（年1回）、アンケートの回答（月1回）

▼**任用期間** 24年4月～25年3月

▼**謝礼** 12000円（年間）

▼**選考方法** 幅広い意見をもらうため地域、年代などを考慮して選出（選出した人には3月下旬に通知）

▼**申し込み** 住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号、広報まさきを読んでの感想を記入し、はがき、封書、ファックス、メールで3月19日（月）までにお申し込みください。

▼**申込先** 〒791－3192 松前町大字筒井631 松前町役場総務課広報情報係 ☎985－4132 FAX985－4148 メール 333koho@town.masaki.ehime.jp

交通死亡事故アンダー60を目指して

今年こそ、県内の年間交通事故死者数を60人未満に抑える「アンダー60」を達成しましょう。

《アンダー60達成に向けて》

1 早朝のライト点灯

早朝にライトを付けていないと、自分は見えていても相手は見えていないということがあります。早朝に車で出掛けるときは、ライトを点灯しましょう。

2 車の整備はしっかりと

車の前照灯が消えている車やブレーキランプの付かない車に乗っている場合、事故につながる恐れがあります。整備不良車として違反切符を切られる可能性もあります。整備は定期的に行いましょう。

3 夜間外出時の反射材の着用

昨年の歩行者の交通死亡事故の3分の2は夜間に発生。その90％以上の人が横断中であり、反射材を着用していなかったという結果が出ています。夜間に外出するときは、反射材を着用しましょう。

問町民課コミュニティ係 ☎985－4228

固定資産税台帳の閲覧

固定資産税は、毎年1月1日現在で固定資産を所有する人（法人）に課税されます。

課税台帳には、土地・家屋及び償却資産の評価額、課税標準額などが記載されています。

家屋の新築、土地の異動、町内に土地・家屋及び償却資産を新たに所有した人（法人）は確認してください。

▼**閲覧期間** 4月2日（月）～

▼**閲覧場所** 税務課資産税係11番窓口

▼**持参するもの**

①印鑑

②本人確認のできるもの

※運転免許証など官公署発行の写真付き身分証明書がない場合は、事前にお問い合わせください。

③代理の場合は所有者の委任状

◉24年度の固定資産税納税通知書は4月中旬に発送予定です。

問税務課資産税係 ☎985－4111

軽自動車などの
廃車・名義変更は3/30までに

軽自動車税は、毎年4月1日現在で登録している名義の人に1年分を納めてもらう税金です。廃車、名義変更や転出をする場合は、3月30日（金）までに手続きをしてください。

車　種	手続き場所	持参するもの
原動機付自転車（125cc以下） 農耕作業車 小型特殊自動車	税務課 町民税係 ☎985－4110	❶認印（名義変更の場合は新所有者と旧所有者の印鑑）❷自賠責保険証書など（車台番号、車名、排気量の分かるもの）❸ナンバープレート（廃車、町外転出などの場合）
軽二輪車（125cc超～250cc以下） 二輪の小型自動車（250cc超）	愛媛運輸支局 ☎050－5540－2076	❶自動車検査証（250cc超以上の場合）❷認印（名義変更の場合は新所有者と旧所有者の印鑑。廃車の場合は検査証欄の使用者と所有者の印鑑）❸住民票（3カ月以内のもの）❹ナンバープレート（廃車、県外転出などの場合）❺自賠責保険証書
軽自動車	軽自動車検査協会 愛媛事務所 ☎975－6730	

問税務課町民税係 ☎985－4110

お済みですか？
確定申告

3月の確定申告の相談日程は下表のとおりです。期間内に正しい申告を済ませてください。所得税の申告をした人は、町県民税の申告をする必要はありません。

役場申告会場

日時　3月15日㈭まで　※土・日曜日は除く
9時～11時30分、13時～16時

場所　役場2階大会議室

●各地区公民館・集会所

期間	9時～11時30分	13時～16時
3/1 ㈭	南黒田	西高柳
2 ㈮	新立	西古泉
5 ㈪	本村	筒井
6 ㈫	宗意原	北黒田

問税務課町民税係 ☎985－4110

申告した所得は

申告によって決定された所得は、次の申請などのために必要な所得証明、課税証明、納税証明の基礎となり、資格判定の大切な資料となります。

①児童手当、国民健康保険や後期高齢者医療を受けるとき
②老齢・障害福祉年金の支給を受けるとき
③保育所の入所申請をするとき
④幼稚園の就園奨励金を申請するとき
⑤公営住宅を申し込むとき
⑥金融機関などから融資などを受けるとき

申告に持参するもの

○印鑑（認印で可）
○税務署から申告書が送付されている人はその申告書
○所得の計算に必要な書類（年金や給与の源泉徴収票など）
○医療費の領収書（集計をしてきてください）
○社会保険料、生命保険料、地震保険料などの控除を受ける人は、領収書や支払（控除）証明書
○障害者手帳など
○還付金の受取口座（本人名義）番号が分かるもの

こんなときは届け出を

国民年金

日本に住む20歳以上60歳未満の全ての人が加入しなければならない国民年金。加入するときだけでなく、被保険者種別が変わったときにも届け出が必要です。なお、支払いを口座振替したい人は、預金通帳と届け出印も持参してください。

届け出が必要なとき	持参するもの
20歳になったとき（厚生年金や共済年金加入者を除く）	印鑑
退職したとき（厚生年金や共済年金加入者の場合）	印鑑、年金手帳、健康保険資格喪失証明書
配偶者に扶養されていたが、配偶者が厚生年金、共済年金を辞めたとき	印鑑、年金手帳、健康保険資格喪失証明書

問町民課住民係 ☎985－4106
松山西年金事務所国民年金課 ☎925－5175

国民健康保険

加入者は次の場合14日以内に届け出が必要です。

届け出が必要なとき	持参するもの
町外へ転出したとき	印鑑、保険証
他の健康保険に加入したとき	印鑑、国保の保険証、健康保険の保険証
生活保護を受けるようになったとき	印鑑、保険証、生活保護開始通知書
死亡したとき	印鑑、保険証
保険証の内容を訂正するとき	印鑑、保険証

※修学で県外に住所を移すときは手続きが必要です。24年度も引き続き学生の場合、24年4月以降発行の在学証明書などを持って、保険課までお越しください。

◉退職者医療制度の届け出もお忘れなく！

会社などを退職して、厚生年金や共済組合から年金を受けている60歳以上65歳未満の人と、その被扶養者は退職者医療制度の対象となります。対象者は年金証書が届いた日の翌日から14日以内に届け出てください。

対象者（次の両方に該当する人とその被扶養者）
・国保に加入している人
・厚生年金や共済組合など（国民年金は除く）からの年金の受給資格があり、その加入期間が20年以上、または40歳以降の加入期間が10年以上ある人

届け出に必要なもの 年金証書、保険証、印鑑

問保険課医療保険係 ☎985－4107

70歳以上の国保加入者

医療費負担割合1割を1年間延長

▼対象者
国民健康保険に加入している70歳以上の人で、負担区分が「2割（平成24年3月31日までは1割）」と書かれた保険証を持っている人
※新しい保険証は3月下旬までに郵送します。送付する保険証は、有効期限が平成24年7月31日のため、表記は「2割（平成24年7月31日までは1割）」となっています。

問保険課医療保険係　☎985―4107

3月1日～7日は子ども予防接種週間

予防接種はお済みですか？

母子健康手帳や予防接種手帳などで接種歴を確認し、対象者で未接種の予防接種がある人は、体調のよいときに早めに受けましょう。

麻しん（はしか）・風しんの接種期限がせまっています
麻しん（はしか）は、空気感染によって起こり、感染力が強く、重篤な合併症を引き起こす病気です。最も有効な対策は予防接種を受けることです。
風しんは、特に妊娠中の女性をウイルスから守るために、夫婦共に風しんワクチンを接種して、予防してください。
2回接種による免疫の増強や感染拡大予防のため、定期接種として対象者が拡大されています。

▼平成23年度対象者
第1期　1歳以上2歳未満の人
第2期　平成17年4月2日～18年4月1日生まれの人（5歳以上7歳未満の小学校入学前の1年間）
第3期　平成10年4月2日～11年4月1日生まれの人（中学校1年生相当年齢）
第4期　平成5年4月2日～6年4月1日生まれの人（高校3年生相当年齢）
※**第2・3・4期の無料接種期限は24年3月31日（土）です。**

問健康課保健センター係　☎985―4118

足に気になる症状はありませんか？　フットケアで足を守ろう

第3回血管いきいき☆糖尿病予防のつどい

足先がピリピリ痛む、足の裏に何か張り付いたような感じがある、足がしびれるなどの症状は、糖尿病の合併症（末梢動脈疾患・糖尿病神経障害）でみられる症状です。フットケアで足を守りましょう。

▼日時　3月9日（金）　13時30分～15時30分
▼会場　松前町総合福祉センター2階　集会室
▼対象　松前町在住で糖尿病予防に関心のある人
▼参加費　無料
▼定員　50人
▼申し込み方法
電話で申し込んでください。
▼締め切り　3月8日（木）
▼申込先　健康課保健センター係　☎985―4118



小さなこどものための自然観察会

野々っ子くらぶ

野々っ子くらぶ第4回は、松前公園で春の花を探します。

第④回春さがしの会

＊日時　3月26日㈪　10時～11時30分
＊場所　子育て支援センター、松前公園
＊対象　就園前の子どもと保護者
　　大人だけでも参加できます。
＊服装　帽子、運動靴（サンダルはやめましょう）
＊持ち物　お茶、タオルなど
＊申し込み方法　3月23日㈮までにお電話ください。（先着15組）
＊申込先　町民課生活環境係　☎985―4117
　　子育て支援センター　☎985―4151

文化センター広域学習ホールの使用申請が1年前からできるようになります



松前総合文化センター広域学習ホールの使用申請は、**使用日の6カ月前から**となっていますが、平成24年4月1日から、**使用日の1年前から**に変更します。

※4月1日は日曜日のため、実際には4月2日（月）から可能です。
※ホール以外の施設については、変更ありません。
ただし、ホールの使用と併せて他の施設を使用する場合は、1年前から申請可能です。

問社会教育課文化センター係　☎985-4139

ひまわりバスで出掛けませんか？

皆さん、ひまわりバスをご存知ですか？　平成20年度から誰でも乗れるワンコインバス（運賃100円）として、町内を走っているコミュニティーバスです。バス内には、見て得する松前町のお楽しみ情報も掲示されています。
お子さんとお出掛けのお母さん。図書館で勉強する学生さん。ぜひ乗ってみてください。
バスの運行時刻表は、役場や東・西・北公民館にあります。



問町民課コミュニティ係
☎985-4228

まさきの ecology 生活

不用品の情報を登録し、必要な人に譲る「松前町不用品データバンク」制度

家庭でまだ使えるのに不用になったものはありませんか。そんなときは、不用品の情報を登録し、必要な人に譲る『松前町不用品データバンク制度』をご利用ください。

◉登録対象者
町内在住で18歳以上の人（事業者はご遠慮ください）

◉登録期間
登録月から3カ月後の月末まで。引き続き登録する場合は、改めて不用品登録カードを提出してください。

◉登録品目
生活用品で、現状使用可能なもの（飲食物、貴金属、バイク、化粧品、金券、骨董品などは登録できません）

◉登録方法
不用品登録カードに無料で提供できる不用品の品名、引き取り方法、品物の情報、氏名、住所、電話番号を記入して町民課に提出。メール可（141gomi@town.masaki.ehime.jp）。写真も一緒に登録できます。
※登録した個人情報が常に開示されることを了承して登録してください。

◉登録カード配布場所
町民課窓口、東・西・北公民館、町ホームページ

◉登録情報が見られる場所　町民課窓口、町ホームページ

◉取引
台帳を見た人→登録者に直接電話して話し合ってください。
町ホームページを見た人→ごみ対策係にお電話ください。登録者の電話番号をお伝えするので、直接電話して話し合ってください。

◉取引が成立したら
登録者が、ごみ対策係に電話かメールで連絡ください。
※役場が関与するのは仲介だけです。取引が成立するまで不用品は自宅で保管してください。商品に関するトラブルは、当事者同士で解決してください。

現在の登録状況
①セミダブルベッド
②本棚

問町民課ごみ対策係　☎985-4117

消防署だより

松前消防署☎ 984−3404

東日本大震災から1年

東日本大震災から１年。これを機に、改めて防災について考えてみましょう。

今月は、震災に遭った東北地区の岩手県宮古地区広域行政組合消防本部、二戸地区広域行政事務組合消防本部、大船渡消防本部に協力いただき、質疑応答をまとめました。皆さんの防災に対する危機意識の向上に繋げていただければ幸いです。

■所属している管轄内での被害状況

《宮古》　・地震被害…なし
・津波被害…死者1045人、不明者352人（23年9月26日現在）
・火災被害…建物火災６件、その他火災１件、林野火災２件、合計９件
《二戸》　・内陸部ということで、人的被害はなし。
《大船渡》　・地震被害…なし
・津波被害…死者351人、不明者87人（24年１月30日現在）
・火災被害…なし

■震災前と後で、住民や消防職員の防災意識の変化

・防波堤が整備されていることで安心していたというわけではないが、それを頼りにしていたことは事実。地震があったらまず津波を考え、高台へ避難するということを再認識させられた。（宮古）
・学校や事業所などの避難訓練では、地震を想定した避難訓練が多くなった。（二戸）
・昔から「津波てんでんこ」という言い伝えがあり、「津波は早い。津波が来たら、とにかく逃げろ」と語り継がれていた。しかし、今回の津波は想像以上の大きさであったことや、「ここまで逃げれば大丈夫だろう」という根拠のない安心感から、多くの犠牲者が発生。今回の津波により防波堤、防潮堤はすべて破壊され、修復されていないままであり、再び津波が発生すれば今回以上の被害が予想されることから、以前より津波への危機意識は高まっている。（大船渡）

■防災グッズの中で役立ったもの、あった方がいいもの

・時期によるが、暖房器具の燃料などを常備しておくことも、防寒対策の一つになるのではないか。（宮古）
・ライフラインが寸断された中、携帯電話の充電、懐中電灯の電池、ラジオの電池などが不足し、太陽光発電を使用し充電できるものが非常に役に立った。外出先での被災も考え、防災グッズを家の中だけでなく、車の中に入れておくのもいいと思う。（二戸）
・ファンヒーターや電化製品は停電時には使えず、「反射式石油ストーブ」が活躍した。暖房の他にもお湯を沸かしたり、料理に使用したりできた。携帯電話のワンセグ情報は電池の消耗が早く使えなかったため、カーナビを利用する人が多かった。（大船渡）

春季全国火災予防運動

消したはず　決めつけないで　もう一度

平成23年度全国統一標語

3月1日(木)から3月7日(水)まで、春の全国火災予防運動が実施されます。

製品火災の発生防止

私たちの暮らしに欠かせない電化製品。正しく使えば便利で役に立つものばかりですが、定格電流を超えていたり、誤った使い方をしていたりすると、思わぬ事故や火災につながる可能性があります。電化製品から異音がする、焦げたような臭いがする、突然電源が切れるなどといった現象が見られた場合には、ただちに使用を中止し、購入店舗またはメーカーに問い合わせてください。

ほんのわずかな異常でも使用を中止し、安易に使用することのないようご協力をお願いします。

募集

上手な話し方・聴き方セミナー

愛媛県の委託による、一人親家庭などの就業支援セミナーです。実践を通して社会で求められるコミュニケーション術を学びます。

▼日時　3月18日（日）13時～16時
▼場所　愛媛県生涯学習センター（松山市上野町甲650番地）
▼入場料　無料
▼対象　母子家庭、父子家庭、寡婦の人　※託児サービス有
▼定員　20人（定員に達しない場合、一般の申し込みも可能）
▼講師　能力開発システム研究所　尾山　紀子
▼申込先　イヨテツケーターサービス（株）（担当：児玉、浅川）☎913−7039

労働基準監督官採用試験

労働基準監督官は、労働基準法などに定められた労働条件や、労働者の安全・健康の確保などを任務とする国家公務員です。

▼1次試験　6月10日（日）　松山市ほか全国15都市で実施
▼申込期間【インターネット】4月2日（月）～12日（木）【郵送】4月2日（月）～3日（火）※当日消印有効

受験案内などは愛媛労働局や県下の各労働基準監督署で交付しています。

問 愛媛労働局総務課人事係 ☎935−5200

相談

多重債務者相談窓口

返しきれない借金で、悩んでいませんか？四国財務局には、安心して相談できる、国の相談窓口があります。必要に応じて、弁護士・司法書士などの法律専門家に引継ぎも行います。まずはお電話ください。※相談無料、秘密厳守

▼受付時間　月～金曜日（祝日と年末年始を除く）9時～12時、13時～17時
▼連絡先　四国財務局財務広報相談官　☎087−831−2155　FAX087−862−8780

消費力アップ通信

賃貸住宅の入居・退去時のトラブルに注意！

入居時

●契約書の内容を十分理解しましょう。分からないことがあれば、賃貸契約をする前に、分かるまで確認しましょう。
「原状回復義務や特約事項が借主に不利ではないか」
「退去時に敷金はいくら返ってくるか」など
●入居時に貸主立ち会いで、床や壁などの傷や汚れなどを確認し、日付入りの写真を撮っておきましょう。

退去時

●退去の申し出は、契約書に書かれた時期や方法で行いましょう。
●必ず点検に立会いましょう。原状回復は、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」に基づき、過失による損耗か自然消耗かをはっきりさせて、修繕費用の負担を話し合いましょう。

安心して役場の相談窓口にご相談ください！

相談は秘密厳守。匿名でも相談できます。情報提供も受付中です。
▷消費者ホットライン ☎ 0570−064−370
▷消費生活相談窓口（産業課内）☎ 985−4120

毎週火曜日は専門の相談員が対応します。

●３月の納税●

国民健康保険税（普通徴収）　**第９期**

納期限は４月２日月
◎納期限内にお納めください◎
口座振替は３月26日月

人のうごき

（H 24.1.31 現在）

区分	人口	前月比
男	14,823	− 38
女	16,332	− 28
合計	31,155	− 66
世帯	12,791	− 46

自動車税

環境政策の一環として、次の自動車（軽自動車を除く）は、平成24年度から廃車されるまで約10％割増の税額となります。
▷ガソリン車・ＬＰＧ車　11年３月31日以前に新車新規登録したもの
▷ディーゼル車　13年３月31日以前に新車新規登録したもの
問中予地方局課税課 ☎ 909−8754

図書館

筒井633
☎985−4140

松前町ふるさとライブラリー

3月の新刊

◆十字軍物語　3／塩野　七生
◆極北ラプソディ／海堂　尊
◆売り出された花嫁／赤川　次郎
◆かなたの子／角田　光代
◆下山の思想／五木　寛之
◆篠ノ井線・姨捨駅　スイッチバックで殺せ／西村　京太郎
◆ジョン・マン　大洋編／山本　一力
◆恋物語／西尾　維新
※この他にもたくさんの本が入っています。

おはなしかい

日時　3月24日㊏　11時
場所　文化センター2階　第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

3月のふるさとライブラリー

○開館時間　9時30分〜19時
○休館日　3月31日㊏

一般書



蜩ノ記

葉室 麟 著／祥伝社
直木賞（第146回）

羽根藩の壇野庄三郎は幽閉中の元郡奉行・戸田秋谷の元へ遣わされる。秋谷は不義密通の罪で家譜編纂と10年後の切腹を命じられていた。事件の真相探求の命が課された庄三郎は…。

一般書



弁護士探偵物語

法坂 一広 著／宝島社
「このミステリーがすごい！」大賞第10回）

裁判のあり方をめぐって司法と検察に異を唱えたことで、懲戒処分を受けた弁護士の「私」が、復帰後に直面する事件の数々。闇に葬られたその真相に弁護士探偵が迫る。

かいけつゾロリ はなよめとゾロリじょう

児童書

原 ゆたか 作・絵／ポプラ社



百億円の懸賞金がかかった「ブタンカーメン」そっくりの彫刻を見つけたゾロリ。夢を叶えようと、ゾロリは立派な城と自分にふさわしい花嫁候補を探すようイシシとノシシに命じるが…

みんなが知りたい放射線の話

児童書

谷川 勝至 著／少年写真新聞社



放射線とのつきあい方や体への影響などを、子どもたちに分かりやすく科学的に説明する。大人への解説、参考になる本やサイトも収録。見返しに元素の周期律表などを掲載。

包括支援

筒井710−1
☎985−4205

松前町地域包括支援センター

地域のネットワークが高齢者を支える

高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けるためには、地域の皆さんがつながり、支えていく「地域のネットワーク」が必要です。

「地域のネットワーク」は、特別なことではありません。皆さんの普段の生活において、顔見知りの高齢者を見守ることから始まります。まずは、声掛けから始めてみませんか？

◆ご近所に気がかりな高齢者はいませんか？

- 郵便物や新聞が郵便受けにたまっている
- 家を訪ねても、顔を出してくれない
- 夜、家の明かりがつかない
- 外出している姿を見掛けなくなった
- 庭の手入れをしていない
- 洗濯物を干していない
- 家の中から大声で怒鳴る声が聞こえる
- 服装が不自然なまま外出している
- 見慣れない人が家に出入りするようになった
- 引越してきたが、周囲になじめていない

高齢者に気がかりなことを感じたら、松前町地域包括支援センターにご連絡ください。高齢者の様子を確認し、状況によって関係機関と連絡を取り合うなど支援を行います。

東公民館

神崎210
☎984−1159

スノーボード体験教室





雪があまり降らない松前町。スノーボードの楽しさ、雪遊びの楽しさを知ってもらうため、1月21日、北伊予小学生有志を募って、26人が久万スキーランドでスノーボード体験をして来ました。

当日は雪でなく、雨でしたが、子どもたちの顔は元気そのもの、やる気満々。午前2時間、午後2時間の体験ではありましたが、みんな帰るころにはまっ白いゲレンデの上をさっそうと滑っていて、見事なボードさばきでした。「また、家の人に連れて来てもらおう」「来年も参加したい」など、みんな楽しかった様子です。

スノボーに目覚めた北伊予っ子。また、来年も待ってます。

西公民館

北黒田966−2
☎984−5313

高齢者教室閉講式





2月8日、平成23年度第8回高齢者教室「唄おう！元気いっぱいに」と閉講式が行われました。

第1回の「楽しく取り組む健康づくり」では、実技を交えながら「1に運動、2に栄養、しっかり禁煙、最後に薬」と、元気に長生きする秘訣を学びました。以降の回では、多くの実用的なお話や岡山への館外研修などを通して様々なことを体験し、楽しく学び、交流を深めました。

今回の教室後に閉講式を行い、皆勤の62人と、精勤の30人に、それぞれ賞状とささやかな記念品をお渡ししました。別れ際には、来年度もお互い元気に、笑顔で参加することを約束しあっていました。

北公民館

昌農内456−1
☎984−7529

おかだっこ広場参観日









1月26日、おかだっこ広場（岡田小学校放課後子ども教室）の参観日を実施しました。

この日の授業は、螺鈿（らでん）細工（漆器などに貝殻内側の虹色光沢部分をはめ込む装飾技法）と蒔絵（まきえ）の技法をアレンジした節分用の枡の飾り付けでした。

細かい作業だったこともあり、親子の共同作業が随所で見られました。枡の完成後は、突如現れた恐ろしい（？）赤鬼、青鬼を子どもたちが豆まきで撃退し、見事北公民館の厄払いをしてくれました。

ふるさと歴史散歩82
～松前史談会レポート～

昌農内1番地を訪ねる

昌農内の一番地巡りは、19 人の参加を得て、昌農内集会所と岡田駅周辺で実施された。ここでは伊予鉄道郡中線の今はなき出合駅とその周辺、岡田駅に残る各種の遺構についてまとめることにした。松前史談 24 号の記事と合わせて御一読ください。

1伊予鉄創業時のプラットホームの高さ

岡田駅は有志が土地を寄付し、出合駅を昌農内に移動させ、村名を駅名とした。この地は、昌農内で八軒屋とも言われた。明和八年の地評帳には上蔵と表記され、土居（ここに一番地があった）、与次兵衛、高山、甚五郎、庄田、柚の木などの地名が残っている。現在、与次兵衛の番地は不明である。「昌農内村絵図」には、与次兵衛橋、与次兵衛井出とあり、昌農内にとって大きな働きを残した土木技術者を顕彰したもののように思われる。八軒屋を過ぎると恵久美に一軒家があり、大間まで道路脇に民家はなく、水田の広がる農村地帯であった。

2隙間無く積み上げられた出合駅の基礎（古駅）

昌農内で聞く言葉は古駅で、古宮のように広く言い伝えられている。出合駅はレールの基礎になる砂利を重信川から調達する基地、貨物駅でもあった。

3出合駅近くの陸橋

赤い煉瓦の最高位置より重信川堤防は低く、南から見ると一段と低い現堤防の高さであった。図の旧橋脚を示す煉瓦の上を列車は走行していた。鉄橋から見る川原は、近くにあり飛び降りても心配のない高さであったように感じている。見学者の通行している旧道は、恵久美へと連なり、古老は谷上道と表現していた。行列のずっと先の方は、上部落から岡田小への近道として利用されていたが、荒れ果てた道路で昔の面影はなくなっている。


1


2


3

3 月 10 日（土）のふるさと歴史散歩は休みます。

問　松前史談会（鷲野）☎ 984-5439

Boys&Girls,Be Ambitious!
頑張る子どもたちを紹介します



8 の字ジャンプ 5 の回し手として活躍

大野 愛純 ちゃん
Ono Azumi
岡田小 6 年・西高柳

石原 千聖 ちゃん
Ishihara Chisato
岡田小 6 年・西高柳

岡田小学校 6 年生の石原千聖ちゃんと大野愛純ちゃん。2月10日まで6年3組がチャレンジした、えひめ子どもスポーツITスタジアムの「8の字ジャンプ5」の回し手として、チームを支えた女の子です。8の字ジャンプ5は、クラス全員で一人ずつ大縄を跳び、5分間で何回跳べたかを競うもの。

二人が縄の回し手となり、4月からチャレンジをスタートしました。以来、練習を重ね、チームは1秒間に2回のペースで跳び続ける615回を記録。千聖ちゃんは「跳ぶ人に合わせて間を切るように回していました」とにっこり。愛純ちゃんば「私は途中で先生とバトンタッチしたけど、千聖ちゃんはしんどいと言いながらもずっと回し手を続けてくれて。みんなが千聖ちゃんに支えられました」ときっぱり。

休み時間に行うため、みんなで集まるのが大変だったという8の字ジャンプ5。でも二人は「みんなで一丸となってやることが魅力」と満面の笑み。きっとクラスのみんながそう感じていることでしょう。クラスが一つになって努力することで、記録だけでなく素敵な思い出を残しました。

1歳です。よろしくね

小林 來美 ちゃん（こばやし くるみ）
筒井
平成 23 年 3 月 14 日生
（父）信昭さん （母）美紀さん
笑顔のかわいい來美、お姉ちゃんと仲良く大きくなってね♡



萩岡 春斗 くん（はぎおか はると）
筒井
平成 23 年 3 月 28 日生
（父）聖士さん （母）知子さん
パパもママも春斗の笑顔が大好き！これからもたくさん笑おうね！





木村 咲彩 ちゃん（きむら さや）
浜
平成 23 年 3 月 26 日生
（父）将人さん （母）麻実さん
1才おめでとう。咲彩のおかげで木村家に笑顔の花が咲いてるよ。



小佐海 公平 くん（こさかい こうへい）
恵久美
平成 23 年 3 月 5 日生
（父）誠さん （母）純江さん
公平くんの笑顔大スキ♡元気に育ってね。

岡田 菜那 ちゃん（おかだ なな）
筒井
平成 23 年 3 月 11 日生
（父）彰夫さん （母）史子さん
笑顔の素敵な女の子になってね。父・母・兄より



5 月に 1 歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真（デジタルデータも可）を持参してください。
＊先着 6 人です。
募集期間 3 月 1 日㈭～ 3 月 15 日㈭
▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

おうちで給食

recipe 42

洋風煮込み



Point 火を通すので、野菜がたっぷり食べられます。

● 材料 ●（4 人分）

- 皮なしウインナー……4 本
- 若鶏肉……200 g
- ジャガイモ……3 個
- タマネギ……1 個
- 人参……1/4 本
- キャベツ……1/4 玉
- パセリ……1 本
- A 塩……ひとつまみ
- A こしょう……少々
- A 薄口しょうゆ……大さじ 2
- 固形スープ……1 個
- 水……600cc

● 作り方 ●

1. ジャガイモは一口大、タマネギは角切り、人参はいちょう切りにする。
2. キャベツは短冊切り、パセリはみじん切りにする。
3. 皮なしウインナーは1cmの斜め切り、若鶏肉は2cm角に切る。
4. スープの中に若鶏肉・人参・ジャガイモ・タマネギを入れる。
5. 4 に火が通ったら、皮なしウインナー・キャベツを加える。
6. A で調味し、パセリを散らす。

発　行／松前町
編　集／広報編集委員会
発行日／平成24年3月1日

〒791-3192
愛媛県伊予郡松前町大字筒井631
☎ 089-985-2111(代)

行ってこーわい 会ってこーわい

「松前サムルノリ」

4種類の打楽器で パワー溢れる演奏を届ける

No. 42

朝鮮半島の伝統的な打楽器4種類による現代音楽「サムルノリ」が、松前で少しずつ広がりを見せています。

平成21年5月に結成された「松前サムルノリ」は、当初3人で活動を開始し、現在メンバーは9人。毎週火曜日の夜、松前総合文化センターのリハーサル室で、にぎやかにアンサンブルを奏でています。韓国留学の際、サムルノリを教わった大政昭彦さん＝西古泉＝が、妻・朴明玉さんとともに立ち上げました。

サムルノリは1980年代に韓国で生まれました。本来、農耕文化の生活に活力を吹き込むための農楽から始まったもの。▷ケンガリ(鉦)▷チャング(鼓)▷プク(太鼓)▷ジン(銅鑼)を使い、リズムを重ねて合奏します。

昨年10月にはまさき文化祭に初出演。今年2月にはまちおこし演芸名人会で、パワフルな演奏を披露して観客を魅了しました。

メンバーは「体のなかにドーンと音が響いてくるところが魅力。さらに音が重なれば、なんだか力が湧いてくる」と話し、「いつかは本場韓国で演奏したい」と夢を語っていました。



1


2

1．2月12日に行われたまちおこし演芸名人会での演奏の様子
2．左がチャング、右がケンガリ

▼編集後記

公民館特集の取材で、地域で大活躍されていた重川さん、松田さん、友田さんにお話を伺いました。3人は今でも、昔お世話になった地域の人が声を掛けてくれると言います。「理屈じゃない。理屈を言っても人はついてこない」。松田さんの言葉です。いつまでも地域の人と心を通わせていられる広報ウーマンを目指します。（高橋）

たくさん勉強させていただきました。14歳になった少年少女の自覚・立志・健康を目標としている少年式。北伊予中学校の式では、生徒たちの誓いの言葉が発表され、「努力」「愛」など歳のまっすぐなメッセージに心打たれました。ここでふと思ったのは、当時僕は何を誓ったのか…。「誓いを忘れる＝達成したから？」とひねくれた考えがすぐ浮かんでしまいました。まっすぐな中学生を見習い日々頑張ることを改めて誓います。（松田）

広告


いよいよ残り1カ月
住基カードの無料発行期間

平成24年3月30日まで
発行手数料500円が無料！
（公的個人認証希望の場合は500円必要）

問町民課住民係 ☎ 985-4105

有料広告募集中

掲載場所	裏表紙の最下段
広告料	20,000円／枠（1カ月）
大きさ	縦40ミリ×横60ミリ
カラー	フルカラー

問総務課広報情報係　☎ 985-4132

この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、水なし印刷で作成しています。